

お客様のプロフィール

(有) みやばしら製作所

事業者名

有限会社みやばしら製作所

事業概要

鋳造用木型製作及びアルミ合金鋳造

従業員数

6名

市の施策を活用して導入。デジタル技術を活用して新たな木型製作に挑む

導入前の問題・課題

3Dプリンターの購入費用が高額だった。また、クライアントからの3次元図面による仕様書に対応できなかった。

選んだ理由

業者さんの丁寧な対応も好印象で、性能と価格などを総合的にみて判断した。

導入の効果

新たな鋳物製作の手法に取り組むことで、他社にはない自社の強みを生み出す取り組みを推進している。

当社は創業時より鋳造用木型の製作を行ってきました。木型製作というのは職人の手による技術が必要なものですが、最近では他社の木型屋さんでも機械加工で木型を作成する方法が浸透している状況でした。当社においても以前から機械の導入を検討していましたが、コスト面などから中々導入に踏み切れませんでした。

ところが、とある展示会で現在の3Dプリンターを拝見したところ、以前は性能が高い製品は安くても数千万円していたものが、今では数十万円で購入できることを知り、購入に際し前向きに検討を始めました。

また、3DCADに関して、最近ではクライアントからの見積依頼の際に、仕様が3次元の図面で提供されることもあり、当社ではそれに対応できないため「何とかしないとイケない」と切に感じているところでした。

そういった時に、タイミングよく市が行っている「がんばる補助金」を知り、補助金を活用して導入することを決めました。

現在は、商品を作る目的としてではなく、まずは機器

を使ってきている段階です。実際に使ってみると、手で作れば感覚的に作れるものでも、3DCADを使うと複雑なものはエラーが出るなど、むしろ作業の手間がかかることもわかってきました。また、3Dプリンターで使用する素材の強度との兼ね合いもあるようです。今後は木型を作らなくても直接鋳型を製作できるように3Dプリンターを活用していきたいと思っています。

デジタル化については、市のデジタル化相談窓口も積極的に活用してもらい、現状の当社の課題を洗い出をしたところでした。その中で、将来的なデジタルデータ活用に向けて、社内に現存する木型管理のデジタル化に取り組んでいます。



代表取締役社長
宮柱 圭介 氏

検討中の方へ
メッセージ

市や商工会などから多くの情報を収集しつつ、それらの機関をうまく活用して、まずは第一歩を踏み出していくことが大事だと思います。